

報告日 令和7年10月31日

報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	観音寺市			代表者名	佐伯 明浩
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	地域支援課	連絡先電話番号	0875-23-3949
担当者役職	係長	担当者氏名	前田 晃宏	連絡先E-mail	
住所	768-8601 香川県観音寺市坂本町一丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	のりあいバス乗降カウントシステム構築事業		
概要	コミュニティバス「観音寺市のりあいバス」の乗降調査内容を入力・記録するシステムを構築することで、利用実態を常時観測し適切な運行内容の見直しに役立てる。この取り組みにより、地域公共交通におけるICT利活用を推進し、活力と魅力ある地域づくりに寄与するとともに、地域においてデジタル化推進する人材の発掘と育成を図りたいので、その手法やシステム内容について助言をいただきたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） EBPM（エビデンスに基づく政策立案）スマートシティ				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月24日	事前打合せ&支援・助言(実地)	14時00分	17時00分	30
				活動時間（分）	150

2-2.

派遣場所	会場名	観音寺市役所	最寄駅	観音寺
	所在地	香川県観音寺市坂本町一丁目1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	米谷 雄介
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	乗降人員調査システムの内製開発にあたり職員向けの操作マニュアルを作成いただいたほか、対面で1つ1つ丁寧にご説明いただき、大変感謝しております。既に本市で運用しているバスロケーションシステム（バスの位置情報表示）と連携することにより、バス停ごとの乗降人数把握が効率化されたほか、Power BI Desktopなどを活用することにより、取得した乗降データの分析・可視化が容易になり、今後の業務に大いに活用できる内容でした。
アドバイザーへの要望事項	指導内容等については特にございません。 ご指導いただくにあたり、アプリケーションのインストール等を伴う場合は、システム管理者との調整が必要な場合がありますので、事前にご相談いただけますと幸いです。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	2人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	2			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	観音寺市のりあいバスについては、乗客の乗車時に運転手が上の調査票に人数を記録した後、データ化したものを日報としてご提出いただいていた。バス停ごとに人数を記録するため確認する項目が多く調査票も細かい事務が繁雑になっており、取得したデータを加工・分析するのに時間も要していました。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	乗降人員調査システムの内製開発のテーマのもと、これまでの紙帳票による手書きでの入力から、乗降人数を選択して送信するだけの簡単なフォーマットを作成し、データ取得を簡略化する。入力したデータを蓄積するとともに、Power BI Desktopなどのアプリケーションを活用しながら、取得したデータの分析を容易にすることで、今後の運行改善につなげる。職員がこれらの知識を習得することで、現場からのシステム開発および運用の機運を高める。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	グーグルフォームを活用したのりあいバスの乗降人数を記録するフォーマットの紹介や入力作業の説明、Power BI Desktopなどのアプリケーションのダウンロードおよび操作方法の説明、そして取得したデータの加工・分析の方法を手順を実演しながらご説明いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	グーグルフォームを活用した乗降人員調査システムの作成や操作方法の指導を受けシステムの作成や運用を行うことが可能となり、乗降データの取得が簡略化された。また、取得したデータを加工・分析するPower BI Desktopの紹介や操作説明を受け、今後は職員がより主体的に乗降記録データを活用して利用状況の分析やバスの路線再編を検討することが可能となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	②事業に係るシステムを構築できた
	乗降人員記録システムにより入力した乗降データを乗降人員記録管理テーブルから保存管理するほか、Power BI Desktop等を用いて分析する。乗降人員記録管理テーブルはまだデータ蓄積が十分でないため運用の途中段階である。 乗降人員記録システム https://forms.gle/ixjRDq2yxvRJGvfW9 乗降人員記録管理テーブル https://docs.google.com/spreadsheets/d/1W5_dVUdlxokDogL9HHPsarlq6HhqdDLDpp9atYtnU2E/edit?usp=sharing	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	乗降人員記録システムによるデータ取得や加工・分析の効果を最大限に発揮するためには、運行委託先の事業者やバス運転手の協力が不可欠であり、今回の実地派遣でシステム環境がある程度整備できたため、現場で試験的に運用しながら安定したデータが取れるよう、関係者に協力を求めている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。	
	乗降人員調査のシステム化により、バスの利用状況等の実態把握を進めることが主たる目的であり、バス乗客などへのアンケート取得を必要としない。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	のりあいバスの運行に関する予算は継続して確保できる見込みである。 また、乗降データの取得や加工・分析については、今回アドバイザーにご指導いただいた内容を踏まえ、予算をかけずに運用する予定である。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	職員などののりあいバス運行運行に関わる人々がデジタルを活用して様々なデータを取得・分析することで、利用状況や課題を正確に把握し、早期の運行改善につなげていく。	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		
		